

日本音楽表現学会会員のみなさまへ

2020年4月26日

日本音楽表現学会会長 後藤 丹
ペガサス大会実行委員長 吉田 秀文

新型コロナが猛威をふるっています、みなさまいかがお過ごしですか。

『第18回ペガサス大会要項』をお届けします。日本音楽表現学会では、これまで大会実施に向けて実行委員会とも協議をしながら、さまざまな方向を探ってきました。しかし、3月26日に7都府県に「緊急事態宣言」が発表され、その後全国に及びました。会場校の新島学園短期大学では8月までの授業はすべて遠隔授業となる方向、近隣の群馬大学も連休明けまで学生は入構禁止だそうです。学会では、このような状態で、例年のような形態で大会を実施することは到底不可能であると判断するに至りました。しかし、一方では今年度の研究を大会で発表しようと鋭意準備されていた会員も少なくありません。そもそもこの学会の主旨は、会員の研究をサポートし、「音楽表現学」研究を確立することにあります。コロナによって会員の研究を停滞させてはなりません。そのための方策をいろいろ検討した結果、「ペガサス大会」は以下のように変則的な形で開催することにいたしました。どうか情勢を大局的にご覧になり、この決定にご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

—— 第18回（ペガサス）大会実施方法について ——

1. 決定の概要：『大会要項』のプログラムの中でプライオリティが重視される分科会の研究を誌上発表の形態で実施する。オープニング演奏、基調講演、レクチャーコンサート、サロン、学会企画、情報交換会については来年度の大会にて実施する。

2. 総会について：

- ① 議案の周知：理事会で審議された決算・予算案をはじめ議案を審議し、『総会資料』を事前に全会員に配付する。
- ② 開催日時：予定通り6月13日（土）15:40から16:50とする。
- ③ 議決権行使：書面（議決権行使書）および委任状で行う。
- ④ 議案の承認と決議：
出席者数：総会開始時点までにメール添付で事務局に届けられた「議決権行使書」および「委任状」の総数とする。
承認と決議：「議決権行使書」に記された「賛成」「反対」「保留」の数による。
意見の表明：「議決権行使書」に「意見欄」を設ける。それらの意見は総会後に理事間で検討・審議して意見表明者には後日検討結果を伝える。

3. 研究発表について：

『音楽表現学』Vol.18号において誌上発表をする。このことによって発表者の研究のプライオリティを保証、発表の事実が学会誌に記載され、研究の世界において研究業績として承認される。
なお、学会企画は討論が重要な要素となるので来年度の大会にて実施する。

4. 理事会と編集委員会：別途開催とする。

5. 研究発表（誌上発表）の方法：

- ① ポスター発表も含めて、各発表者には上記3に沿って、4月末に執筆要領とテンプレートなどを連絡します。